

日本社会福祉士会の皆様

今回の平成30年7月豪雨において、大洲市では2000件を超える住家の浸水、土砂崩れ等、甚大な被害に見舞われました。肱川支所や観光地、交通機関にも被害があり、市全体が混乱状態でした。ですが、全国から駆けつけていただいたボランティアさんや企業・団体等の方のお力もあり、1日1日と復興へ向かっている状況です。

大洲市地域包括支援センターは被災当初、通常業務に加え、利用者様の安否確認や行き先のなくなった高齢者の方への対応、避難所におられる方への聞き取り等、忙しい日々を過ごしていました。避難所や仮設住宅には包括以外にも多数の機関が支援に入っている状況でしたが、包括としては、被災したエリアにおいて在宅で生活されている高齢者の生活状況が気になっていました。マンパワー不足ということもあり、なかなかその状況確認ができていなかった中、日本社会福祉士会の皆様に9月18日から11月30日までの約2ヶ月半の間、ご支援をいただき、在宅におられる被災高齢者の訪問活動を行っていただきました。見知らぬ土地での訪問活動は大変だったと思いますが、皆様とても丁寧に活動していただき、大変感謝しております。また、皆様からのアドバイスもいただきながら私たちも災害支援を行うことができたため心強かったです。

大洲市の復興はまだまだこれからです。10月1日に設置された大洲市地域支え合いセンターとも連携を図りながら、地域包括支援センターも頑張っていこうと思います。日本社会福祉士会の皆様におかれましては、北は北海道、南は熊本と全国各地からご支援に来てくださり、本当にありがとうございました。皆様のご健康と今後のご活躍をお祈り申し上げます。

平成30年12月12日

大洲市地域包括支援センター 職員一同

がんばろう！大洲